

水戸市の下水処理

消化ガス発電

水戸市の浄化センター

水戸市は、4つの浄化センター（市管理3つ、県管理1つ）で、皆様の家庭などからの汚水を処理しています。

管 理	処理施設の名称	処理方法	計画処理面積 (ha)	処理能力	
				日最大 (m ³ /日)	計画処理人口 (人)
水戸市	水戸市浄化センター	標準活性汚泥法	3,510	79,500	115,900
水戸市	水府・青柳浄化センター	オキシデーショントリッチ法	140	1,450	2,700
水戸市	内原浄化センター	オキシデーショントリッチ法	413	5,400	8,500
茨城県	那珂久慈浄化センター ()内は流域全体	標準活性汚泥法	4,535 (19,915)	59,456 (237,000)	107,200 (377,380)

(H26.4.1現在)



水戸市浄化センター



水府・青柳浄化センター



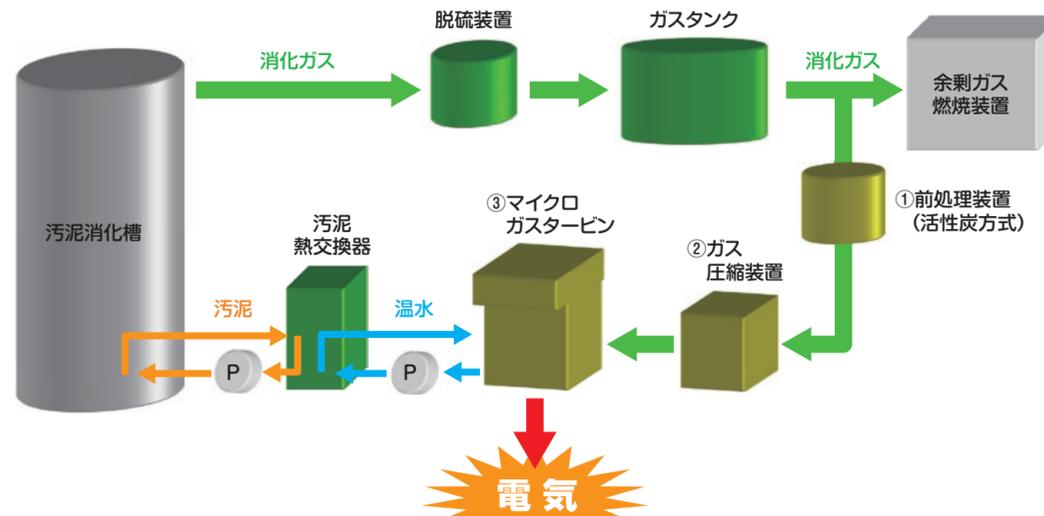
内原浄化センター



那珂久慈浄化センター

水戸市浄化センターでは、下水処理の過程で発生する消化ガスの有効利用と地球温暖化対策の一つとして消化ガス発電を導入しています。

マイクロガスタービンで発電し場内で使用するとともに、排気の熱を利用して汚泥を加温し、分解を促進させて消化ガスの発生を促します。



効果 発電した電気は浄化センターの場内で使用し、電気料金の削減をしています。二酸化炭素排出量の削減になります。



①前処理装置



②ガス圧縮装置



③マイクロガスタービン



④中央監視室内監視装置

機器仕様	
マイクロガスタービン	
定格発電出力	95kW
数 量	3基



水戸市



豊かな自然と共生できる エコなまちづくり

下水処理のしくみ (水戸市浄化センターで採用している方式です)

潤いを感じられる良好な水辺環境の形成

私たちの街「水戸」は、千波湖や那珂川をはじめとした多くの河川、湖沼に恵まれています。

しかし、家庭のトイレや台所などの汚れた水が河川などに未処理のまま流れ込むと、河川などの水質の汚れの原因となります。

このため、市民に親しまれるきれいな河川、湖沼の再生を図り、合わせて街の健全な発達と快適な生活環境をつくるため、下水道事業を進めています。

